

～乳幼児の股関節脱臼～



知っていますか？日本の現状と診断、予防

近年『股関節脱臼』と診断された子の15%が1歳以降、しかも公的健診を受けていた子という事をご存知ですか？そして、「先天性股関節脱臼」ではなく、「发育性股関節形成不全（DDH）」と呼ばれるようになってきている理由も。。。生後3-4ヶ月を過ぎると骨は急速に成長するために治療は成長とともに大変になっていきます。早期発見し、早期治療開始がなによりも子供にとって重要なのです。出生時、2週間健診、新生児訪問、1ヶ月健診、育児サークルなどできちんと観察できていますか？子供の姿勢や動作、母親の授乳姿勢で『あら？？？』と思う事はありませんか？

この貴重な機会に乳幼児股関節脱臼の診断、治療の第一人者である藤原憲太医師からきちんと学び、今後の健やかな子育て支援にいかしましょう。

講師：藤原憲太先生 大阪医科大学整形外科

(整形外科専門医 超音波専門医 小児整形外科 側弯症)

日時：平成30年3月10日(土) 13:30～16:30

場所：大阪府助産師会館3階研修室

大阪市天王寺区細工谷1-1-5

Tel 06-6771-6537 HP <http://josansi.org/>

＊参加費用

大阪府助産師会会員 1080円

非会員（他府県会員・一般）3240円

学生 540円

＊受け付けは当日会場で12:45からです。

＊本部案内連絡事項連絡は13:20からです。

＊会員は「会員証」をご提示ください。

＊この研修では、日本助産師会の継続ポイントが取得できます。

企画：大阪府助産師会 助産所部会

